

地域と取り組む持続可能な離島観光モデルづくり（南あわじ市沼島）

委員会・地元部会がスタートしました

9月2日（火）神戸で第1回委員会、続いて9月10日（水）に沼島で第1回地元部会が開催されました。

沼島は、島民600名を切る淡路島の南約5kmの海上に浮かぶ小さな島で、淡路本島を結ぶ定期旅客船会社は1社、島の人にとってかけがえのない航路です。

しかし、航路の現状は年間約1億円の赤字が続くなど厳しいものがあり、バスや鉄道の路線廃止などのニュースは決して他人事とは考えられません。そのようなことから、この航路を島民みんなの力で守っていこう、島を訪れる観光客を増やすことで航路の経営を助けていこうと、みんなの注目を集める中でスタートしました。

とくに、沼島総合センターで開催された地元部会では、自治会、老人会、婦人会、PTA、漁協、ぬぼこの会（地元観光ボランティアグループ）など多くの方が集まり、どうしたらもっと島の魅力を伝えられるのか、多くの人に訪ねてもらえるのかについて、アイデアや課題がたくさん出されました。

今回の第一歩が、波紋のように島ぐるみの取組みへと広がり、みんなで話し合い協力し合うことで島が活性化し、新たな地域づくりができることに期待を寄せながら、どんなアイデアが実現するのか、楽しみにしたいと思います。

がんばれ沼島!!



マスコミも注目（第1回委員会）
- 読売新聞 9/3 朝刊 -

活発な意見交換（第1回地元部会）